

A1 ありがとうのと鉄道撮影を終えて母の生家で六水町 1日17:29	B1 輝く鉄路は汽車を待ち続ける 前波駅 1日17:02	C1 最後の1260円区間乗車券、六水発蛸島行き 下り1番列車の車内で	D1 最後の汽車登校の朝。インタビューを受ける中学生 甲駅 6:36	E1 鶴飼駅で列車を見送るプラスバンドを伝える記事 1日の北陸中日新聞	F1 住民には最終日も日常生活には変わりはない。でも毎日乗る汽車は明日から来ない。 縄文真脇駅 8:53	G1 最後の汽車に乗るために待つお年寄りたちのために満員の列車が到着。多くの人がよそゆきの装い。 鶴川駅 9:25	H1 鶴川駅を去る汽車の中から。何度も見てきたこの車窓もこれで最後に。 鶴川駅 9:26
A2 六水駅到着で最終乗務を終えた宮下運転士に花束を手渡す同僚六水駅 9:59	B2 名撮影地から臨む最後の風景(強風のため立っているが精一杯) 波並高台から 12:29	C2 名撮影地から臨む最後の風景。能登を代表する風景の一つが消え去ろうとしている。 波並漁港 13:29	D2 海に一番近い駅。海を眺めつつ、汽車の過ぎゆく最後のときを待合室ですごす。列車の到着あと5回。 矢波駅 15:41	E2 下り1番列車で蛸島に到着。手渡された巽氏作成本日限定の下車証明と列車。廃止で遠かな終着駅もなくなる。 蛸島駅 8:07	F2 防波堤から満員の列車に手を振る。下り列車残り3本 波並漁港 14:30	G2 通り雨が過ぎたばかりの駅で蛸島行き列車をセルフタイマーで狙う 矢波駅 16:48	H2 六水駅到着で最終乗務を終えた宮下、北村両運転士と記念撮影をする同僚 六水駅 10:02
A3 最後のたそがれの時を迎え、ホームに最期の電灯が灯る駅。人の姿はない。 鶴川駅 18:37	B3 時刻表にない回送列車来る。線内の車両はすべて六水に送られていく。 鶴川駅 18:34	C3 電灯に浮かび上がる駅。この駅が迎える列車は、残り上下各1本。 鶴川駅 18:43	D3 最終日の模様を伝える北国新聞。石川県の有力紙である同紙は能登線廃止を推進運行する下支えをした。 1日	E3 上下各最終列車を待つだけになった駅の待合室。静寂の支配する駅で一人、幼少時代を回想する。 鶴川駅 18:59	F3 鶴川駅に入線する上り最終列車。奥能登から人々を送り出す最期の汽車に自分も送ってもらう。 鶴川駅 19:21	G3 六水に向け、最期の汽車の乗客となる。 上り最終列車内 19:45	H3 六水に到着した上り最終列車は、下り最終列車になる。臨時に1番線に入れ替えされる。JRサヨナラ列車と同じだ。 六水駅 19:57
A4 能登線最終列車の増結作業を見守る人たち六水駅 20:00	B4 能登線最終列車を送る挨拶をする坂本六水町長。廃線でバスになって益々便利になるだと。アホか! 六水駅 20:03	C4 六水駅1番線に集まった能登線最終列車を見送る人たち 六水駅 20:03	D4 坂本六水町長に花束を手渡される能登線最終列車の運転士。廃止を推進した町長に花などもらいたくないだろうに。 六水駅 20:04	E4 六水を発つ能登線最終列車から。笑って手を振るのは廃止を積極的に推進したのと鉄道驚嶽社長 六水駅 20:07	F4 人里離れた駅に最終列車を見送る人と、手を振って応える乗務員。 鹿波駅 20:22	G4 人里から遠く離れた駅に餞別のメッセージが。 白丸駅 21:11	H4 ふだん人気の少ない山里の駅にもたくさん見送りの人が。 古君駅 20:34
A5 様々な思いが残る駅を発車する最終列車。列車からみる本当に本当に最後の古君駅。もう列車からこの地に降り立つことはできない。 20:35	B5 臨時回送列車と鶴川駅で交換。定刻5分遅れて発車。 鶴川駅 20:39	C5 海に一番近い駅から汽車を見送る人たち 矢波駅 20:43	D5 人里から遠く離れた駅に餞別のメッセージが。 白丸駅 21:11	E5 上り最終列車の宇出津駅到着の様子を伝える記事 1日 北陸中日新聞	F5 宇出津駅を発車する最終列車を見送るたくさんの人たち。宇出津は浴線随一の拠点駅。 宇出津駅 20:55	G5 宇出津駅を発車する最終列車を撮影するたくさんの人たち。宇出津は能登線敷設に尽力した故益谷秀次の生地。 宇出津駅 20:55	H5 最終列車を見送る人たちと電気の灯る最後の駅。中部の駅百選にも選ばれた駅の運命やいかに。 九十九湾小木駅21:07
A6 餞別のメッセージ。細かい文字で鉄道開通の喜びを書き記したのも。九里川尻駅 21:13	B6 地元住民代表が最終列車乗務員にメッセージを読み上げる。涙なしには聞けない。 松波駅 21:18	C6 たくさんの人の待つ松波駅に到着する 松波駅 21:17	D6 地元住民代表が最終列車乗務員に花束を手渡す 松波駅 21:18	E6 最終列車を大きな横断幕を掲げて大きく手を振り見送る人たち 松波駅 21:19	F6 花束が添えられた最終列車乗務員室。能登線の営業運転もあとわずか。 最終列車内で 21:31	G6 花束が添えられた最終列車乗務員室。能登線の営業運転もあとわずか。 最終列車内で 21:31	H6 能登線最終列車、終着駅に到着。能登線の命尽きる最期のとき 珠洲駅 21:38
A7 次駅表示に「珠洲」。まもなく終着駅に到着しようとする最終列車内。撮影しているのは巽氏。最終列車内 21:36	B7 最終列車のうち前1両は蛸島に保存するため切り離される。その様子を見守る人たち。 珠洲駅 21:42	C7 満身創痍の最終列車最前部に捧げられた花束。 珠洲駅 21:39	D7 ともに能登線を走り抜いた最終列車は、切り離され、それぞれ六水と蛸島に回送される。 珠洲駅 21:44	E7 蛸島に向けて死出の旅立ちをしようとする102号車。帰る路はない。 珠洲駅 21:46	F7 終着駅に到着しインタビューされる能登線最終列車の運転士 珠洲駅 21:50	G7 記念撮影をする最終列車の運転士。最終列車の行き先には「回送」の文字が。 珠洲駅 21:52	H7 ふだんなら寝静まる深夜にもかかわらず、最期の汽車の姿を見に集まった人たち 珠洲駅 22:06
A8 たくさんの花束を抱える最終列車の運転士。彼に笑顔はない。 珠洲駅 21:51	B8 たくさんの花束を抱える最終列車の運転士を撮影する人たち 珠洲駅 21:52	C8 最終列車は六水に回送される能登線を走る最期の汽車に。運転室には一度きりの行路表が。 珠洲駅 21:59	D8 能登線最期の列車となる臨時回送の出発信号を指差確認する珠洲駅長。奥能登から汽車の息吹が去っていく。 珠洲駅 22:12	E8 最期の汽車を送り出し、人の去った駅の戸締まりをする駅員。 珠洲駅 22:19	F8 駅としての使命を終え、電気の消された駅。駅を後にする最後の旅人。 珠洲駅 22:21	G8 廃止を伝える記事。1面トップ論説に「レールはめくるな」とあるが…。 1日 北陸中日新聞	H8 この先61キロもの線路を遮る悪魔。左は輪島への線路跡。奥能登の鉄道網は1930年代に逆戻り。 六水にて 1日16時